



富士市立吉原第二中学校 令和7年度 3月 学校だより

希望ヶ丘



卒業式に向けて（3年生）



令和7年度 第77回卒業証書授与式（卒業式）が、令和8年3月19日（木）に開催します。今年の干支は「丙午（ひのえうま）」。「午」は成長や成功・繁栄のシンボルとして縁起がよいものとされているそうです。そして、今年度の卒業生は第77期生です。希望に満ちた旅立ちとなるよう見守りたいと思います。

○ 学年レクリエーション（3月10日）

3年生は公立高校の受検を終えて、「ありがとうを形に」をキャッチフレーズに、日々、卒業式練習や合唱練習、学年レクリエーションなどに取り組んでいます。

3月10日には、学年レクリエーションで球技大会を実施しました。運動場と体育館に別れて、一人2種目に参加しました。運動場では、富士川緑地公園で公式試合が実施されたことで広まっていったアルティメット（フリスビーを使用したラグビー形式のスポーツ）。体育館ではバドミントンとバレーボールを選択してどちらかに参加する形で実施しました。

とても楽しそうに取り組んでいました。



○ 卒業生と高校生活について語ろう（3月11日）

本校の卒業生26名が来校し、3年生のために高校生活について話をしてくれました。

進路についての話では、「本当は、私立高校に進学したかった。家計を考えると、親に迷惑をかけてしまう。進学した公立高校には期待感はなく、最初は修学旅行だけが楽しみでした。高校の先生方がとても親身になってくれたので徐々に楽しくなり、教員になりたいという夢を持ちました。しかし、経済的に大学進学は厳しいので、資格取得に切り替えて就職を決めました。」と、リアルな感情や人生における取捨選択に共感していたようです。

高校の部活動の話では、「部活の先輩と同じポジションを争っていました。辛い思いもしましたが、部内で自分に出来ることをやろうと考える様になってから、楽しくなりました。」

他にも3年生からの「高校生活では何が楽しいですか」という質問に、卒業生は「全部楽しいよ」と答えてくれました。

とても新鮮だったのでしょう。「思ったより面白かった。」という素直な感想が聞かれました。4月からの新しい生活の順調なスタートに向けて卒業生から大きな影響を受けることができたことだと思います。

○ 令和8年度 前期生徒会選挙・立会演説会（3月5日）

3年生卒業後の新年度のために、前期生徒会選挙・立会演説会を実施しました。各候補とも、これからの吉原第二中学校の生徒会活動を盛り上げていくために、挨拶や蒼華祭など様々な公約を掲げていました。各自、演説にも工夫をこらして個性的な発表となっていました。新年度も伝統を引き継ぎつつ、新たな歴史をつくっていかれることと思います。



【保護者様へ】

留守電対応の時間変更について

現在、留守電対応時間を18時30分以降とさせていただいておりますが、新年度以降は17時30分とさせていただきます。

なお、長期休業期間については、16時30分とさせていただきます。年度末・年度始休業期間中については、3月23日から4月7日までとなります。

ご協力お願いいたします。